花の植え込みで環境整備活動をしている

ひまわり会訪問

令和４年６月２８日（火）

サポセン環境保全の団体の一つである「ひまわり会」（会員数８名）は、国道 412 号線塩川滝付近の道路脇にある「鮎の里」モニュメントのまわりを春と秋の２回・花の苗の植え込みと雑草取りを行っています。

平成 16 年から半原婦人会が行っていましたが、平成２１年５月より有志により継続していこうと、同会が発足して、神奈川県厚木土木事務所から花の苗の提供を受けて、木々に囲まれた道路にマリーゴールドやパンジーなど色とりどりの花を植え、通行中の車や歩行中の人々の目を楽しませているほか、周辺の草取りを行うなど、すっきりとして潤いのある景観を提供しています。少人数になっても継続して頑張っているそうです。また、毎回・花壇に植える花の苗はどんな種類がいいのか、自分たちでカタログから選定しているそうです。

今年は、５月末に花の苗の植え込みを行い、６月の草刈予定が雨で延期になっている間に「梅雨が明け」暑さ厳しいなかでの花壇周辺の草取り作業が行われました。とてもスッキリきれいになりました！

ひまわり会は、花壇づくり活動を通して道路の美化運動と会員相互の親睦を図り、地域の発展に寄与しています。お花が好きで、皆で仲良く花壇づくりをして交流を深めています。

連絡先：あいかわ町民活動サポートセンター　電話番号：046-205-1324
ファクス：046-205-1324　メール：　ai-saposen@bz01.plala.or.jp